
マイナスの僕とプラスのわたし、（複合同順だけどね）

鈴木フラグ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マイナスの僕とプラスのわたし、（複合同順だけどね）

【Nコード】

N3644H

【作者名】

鈴木フラグ

【あらすじ】

火と水、男と女、現実と仮想：etcこの宇宙は、対称性を保って存在している。いや、対称性の中に宇宙が存在する、とも言えるのではないだろうか。だから、正反対の僕と彼女を見ていれば、世界を理解できる…のか？なんかこれはおかしい。にやゝ

第一話、ふたり

憎まれっ子世にはばかると言おうか、一寸先は闇と言おうか、小学校のみぎり、常に上履きを左右反対に履いていた少年は地元の名門公立高校に入学した。

いや、あるいはその、上履きを左右反対に履いて、先生、級友に何度も注意されたのにもかかわらず、決して直そうとしなかった唯我独尊、狷介不屈の性によるものであろうか、

周囲の反対を押し切って受けた高校、誰もが予想し得なかった合格だった。

一方、彼女は少年とはあらゆる面で正反対であった。

常に成績はトップを維持し、品行方正、人の言うことは素直に聞くとてもいい子であった。

それゆえ、彼女の母親は

「どうすればおたくの娘さんみたいな子に育てられるのかしら」

という質問 お世辞ではなく、真剣な表情で繰り出される がひつきりなしにされるのが常であった。

彼女は他人に対し、ほとんど菩薩と言っていていいぐらいの優しさを発揮し、人を嫌うなどということは殆どなかった。

「殆ど」これは完璧を目指す彼女にとって、耐えがたい形容だろう。これが「全く」となれない、その原因。それが、あの少年だった。

…一応言っておくと、これは少年が格別嫌な奴であったということの意味しない。

少年は常にクラスの人気者であり 嫌な奴が人気者というのは語義矛盾であろう とても人好きのする子供であった。

つまり、彼を嫌うのは、単に彼女の嗜好による。彼女にとってのみ、

彼は我慢ならない嫌な奴であつた。

まあ、それも仕方がないことである。

きつちりと規則を遵守し、自らの意志を多少なりとも縛ることで成功（ここでは友達からの人気、成績等）を獲得してきた彼女にとつて、自らの恣に行動するのにもかかわらず、成功を収める彼の存在は、自分の一つ一つをことごとく否定して回っているように見えていたのだ。

彼女は他県の名門私立高校に入学した。

地元の所謂「名門校」はことごとく男子高であつたためである。これは性差別ではないのかと、彼女は思った。

三年の月日が経ち、彼らはまた大きな転機を迎えた。

「大学受験」である。

少年 もはや、青年と言つたほうがふさわしいのだろうか、身長はあまり伸びていないが はもちまへの唯我独尊で、この国の最難関の大学を受験し、今度はあえなく玉砕した。

一方、彼女は三年間手堅く勉強を進めており、合格確実と誰もが信じていたけれど、やはり玉と散つた。敗因は寝不足と極度のあがり症だった。

二人は等しく受験に失敗したのにもかかわらず、彼女は悲嘆に暮れ、彼は気ままにゲームをしていた。

やはり、成長しても二人は正反対であつた。おもしろいほどに。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3644h/>

マイナスの僕とプラスのわたし、（複合同順だけどね）

2010年10月24日01時47分発行